

道路事業の流れ

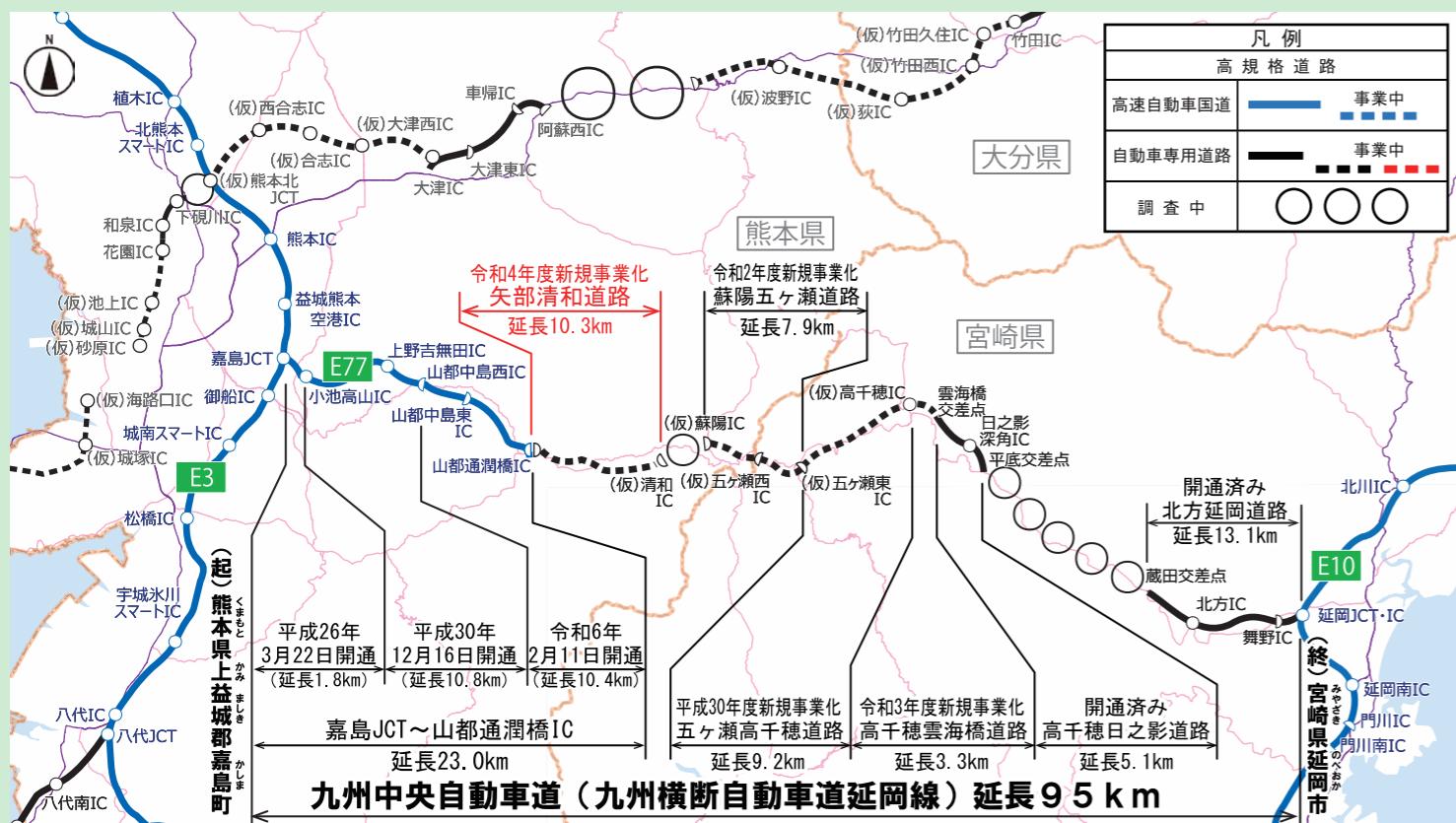


九州中央自動車道（九州横断自動車道延岡線）の整備状況

九州中央自動車道（九州横断自動車道延岡線）は、熊本県上益城郡嘉島町から宮崎県延岡市に至る延長約95kmの高規格道路です。九州の中央を横断し、九州縦貫自動車道と東九州自動車道を結び、これらと一体となって九州の循環型高速交通ネットワークを形成します。

熊本県側においては、嘉島JCT～山都通潤橋IC（延長23.0km）が供用しております。また、県境を跨ぐ蘇陽五ヶ瀬道路（延長7.9km）は令和2年度、矢部清和道路は令和4年度に新規事業化しました。

宮崎県側においては、北方延岡道路（延長13.1km）や高千穂日之影道路（延長5.1km）が供用しており、五ヶ瀬高千穂道路（延長9.2km）は平成30年度、高千穂雲海橋道路（延長3.3km）は令和3年度に新規事業化しました。



九州中央自動車道 矢部清和道路



矢部清和道路について

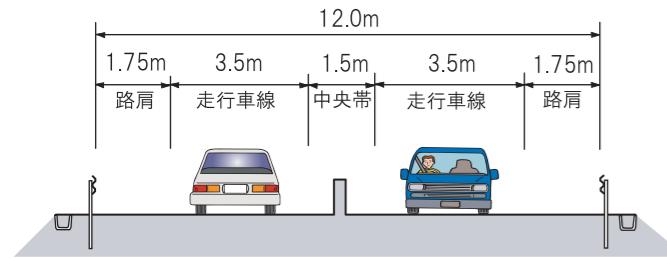
国道218号矢部清和道路は、九州中央自動車道の一部を形成する延長10.3kmの自動車専用道路で、災害時の代替路機能や円滑な救急医療活動・産業活動の支援、現道の線形が厳しい箇所の回避による交通安全性の向上等を目的とした事業です。

矢部清和道路の事業概要

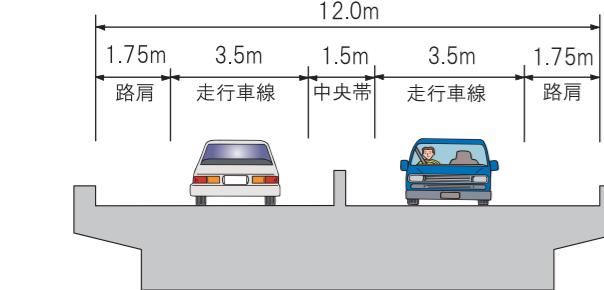
- 路線名 国道218号 矢部清和道路（九州中央自動車道）
- 起 点 熊本県上益城郡山都町城平
- 終 点 熊本県上益城郡山都町大平
- 延 長 10.3km
- 構造規格 第1種3級 V=80km/h
- 道路幅員 W=12.0m 2車線
- 事業化 令和4年度

標準断面図

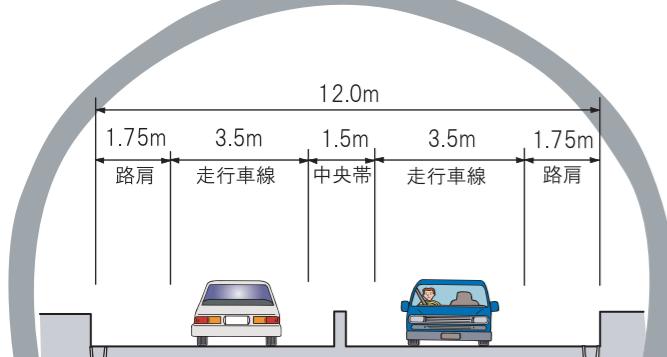
土工部



橋梁部



トンネル部



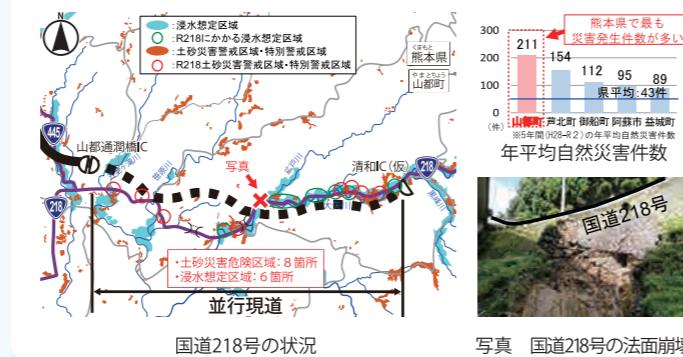
218

矢部清和道路



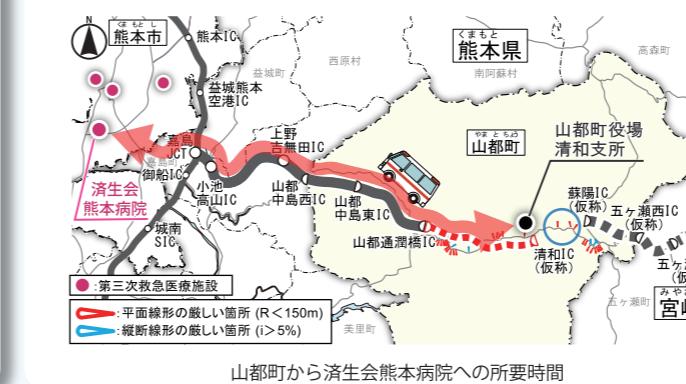
整備効果1 災害時の代替路の形成

現道の土砂災害危険区域や浸水想定区域といった箇所を回避し、災害時の代替路機能が確保され、救援活動においても機能する信頼性の高い道路ネットワークを形成します。



整備効果2 救急医療活動の支援

山都町から熊本市内の第三次救急医療施設への速達性が確保され、円滑な救急医療活動を支援します。



整備効果3 物流効率化による産業支援

並行する国道218号の線形が厳しい箇所の回避により走行性が向上し、円滑な輸送の実現による地域産業の振興を支援します。

